

共同助成(長崎県遊技業協同組合)

「みんなの実家プロジェクト」事業

産前産後からの切れ目ない家族支援の 拠点・仕組みづくりと人材育成

少子化が社会の成長に及ぼす影響が心配されているが、その対策として子育てしやすい環境を整えることが、まず何よりも優先されなければならない。そのためには、地域社会が全体として子育て家庭を支えていくための仕組みづくりや人材育成が急務である。長崎県佐世保市のNPO法人が産前産後から切れ目ない支援に取り組んでいる。



「子育て応援イベント第2回赤ちゃんフェスタ」を告知するチラシ



会場では離乳食や絵本の販売、子育て相談会などを開催

地域の様々な人々に支えられて 楽しく子育てできる環境を整える

2007年に長崎県佐世保市で設立したNPO法人「ちいきのなかま」は、子ども、大人、親子、家族、地域社会の様々な人々がお互い地域の仲間として幸せなコミュニケーションを築き上げ、支え合いながら、誕生から高齢に至るまで安心して暮らせる地域をつくることを目的に、ファミリーサポートセンター受託事業、子育て支援事業、家族支援事業、ソーシャルワークを行う人材を育成する事業、出版事業などの活動を行っている。

同法人では2018年度、「みんなの実家プロジェクト」という事業を実施した。このプロジェクトは、①子育て世代が地域の様々な人たちに支えられ、楽しく子育てができるようになる、②産前から不安や困りごとが相談でき、産後からスムーズに子育てに移行できる、③子どもの健やかな

育ちを支えられるように子育て文化が継承され、必要なサポートを受けながら家族として成長していけることを目的とするもので、晩婚化や出産の高年齢化、また子育て家庭の孤立化など、昔とは異なる子育て状況の中でSOSを出せずにいる母親と子育て家庭を対象にしたものである。

このプロジェクトの根底にあるのは、まず虐待の予防と子育て家庭の孤立化の予防であり、虐待事件の家族の多くが孤立化傾向にあることから、子育ての負担軽減のために地域住民が子育て家庭に関わる機会を増やすことで、その困難さを直接支えたいという思いがある。また、子どもや子育てに関わった経験がないため、子どもへの接し方や叱り方がわからないまま親になったり、子育てを楽しみ、夫婦ともに自分らしく働き、生きるための話し合いができないまますれ違っていく夫婦に、親になるための学びの場を提供することである。

家事援助の支援者が8名誕生し、家事支援のモニター利用が開始される

プロジェクトの具体的内容は、赤ちゃんや子どもたちに生まれてきたことに感謝を伝えるとともに、産前産後からの切れ目ない支援に関わる人たちが集い、その活動を周知することを目的に、「子育て応援イベント第2回赤ちゃんフェスタ」を2018年11月25日にアルカスSASEBOで開催した。フェスタには19団体の出展があり、ワークショップなども行われた。

また、妊娠中から産後までの女性、夫婦を応援し、孤立しがちな子育て家庭と地域をつなぐため、宿泊機能も備えた「みんなの実家モンブレア」を2019年1月25日に正式開所した。これは事業の趣旨に賛同した佐世保市内在住の方が家を提供してくれたことで可能になった。ここでは食事会のほか、小規模のイベントも5回開催した。

さらに「産前産後からの家事育児をシェア」するための支援者養成研修(食事づくり、掃除・洗濯の2科目)を開

催したが、研修に参加した16名のうち、8名が支援者として登録された。研修終了直後に、早くも産後ケアモニターとして3名が利用者となった。

また、子育てが文化の継承であることを認識し、自分たちも学びながら親として成長していくことを促すために、夫婦会議の始め方を提案する「かぞくの学校」を2月24日に開催。この体験講座に5組の夫婦が参加した。

同法人では、家事援助の支援者が誕生したこと、家事支援モニター利用を開始できたことをこのプロジェクトの一番の成果として挙げている。家事支援の利用者から、「頼んでよかった」という言葉をもらったときは感動したという。

長崎県遊技業協同組合より

地域社会が積極的に子育て家庭を支えていくことは、少子化や虐待を防ぐために必要なことだと思ひ助成しました。今後も事業の広がりを期待しています。



産後の夫婦間のコミュニケーションを円滑にする講座「かぞくの学校」も開催



産前産後ケアサポーター養成研修会

助成団体:特定非営利活動法人 ちいきのなかま

<http://chiikinonakama.boj.jp/>



好機を得て、「ちいきのなかま」の目標が一層明確になりました

何年も学習会を重ねてきて、この助成を受けることで目指しているビジョンに確実に歩みを進めることができました。実際、すべての事業が大成功であったわけではありませんが、スタッフそれぞれが小さな失敗を体験できたことまた、この助成のおかげであったと思います。私たちはNPOとして社会貢献事業とソーシャルビジネス両方に取り組める団体に成長したいと思います。

特定非営利活動法人 ちいきのなかま
理事長 守永 恵さん